

平成28年度 予算概要



交 通 局

目 次

平成28年度交通局予算（案）の概要

1	28年度予算の基本的な考え方	1
2	28年度予算編成のポイント	2
3	事業規模	3
4	乗車料収入	3
5	予算(案)の主な取組	
(1)	お客様に向けて	4
ア	安全性の向上	4
イ	利便性の向上	5
ウ	快適性の向上	5
エ	バリアフリーの向上	6
(2)	地域社会のために	6
ア	環境対策	6
イ	地域貢献	6
(3)	地方公営企業としての責任と経営基盤の強化	7
ア	行政施策との連携強化	7
イ	経営力の向上	8
ウ	組織力の強化	8

【資料】

予算（案）総括表

<自動車事業会計>	11
<高速鉄道事業会計>	12

平成 28 年度交通局予算（案）の概要

1 28 年度予算の基本的な考え方

交通局では、「自主自立の経営」が持続できる基盤を確立したことを踏まえ、「市営交通中期経営計画（平成 27～30 年度）」に基づき、「信頼と共益の市営交通」の実現に向けた取組を進めてまいります。

28 年度はこの中期経営計画の 2 年目にあたることから、計画を着実に推進し、「利益」や「収益」をお客様や地域社会のみなさまに見える形で還元する「共益の見える化」を具体的な成果につなげてまいります。

まずは、交通事業者としての最大の使命である安全運行の確保のため、施設の老朽化対策や車両・設備への投資などハード面の対策を計画的に進めるとともに、安全管理体制の強化や災害対応訓練の実施など職員の安全意識向上に努め、安全対策に最優先に取り組めます。

また、市営交通にとって喫緊の課題である職員の人材育成や技術の継承を進めるため、「総合研修センター（仮称）」の設置を検討するほか、職員が生き生きと働くことができるよう職場環境の改善を進めてまいります。

今後も、少子高齢化のさらなる進展など、市営交通の経営環境は決して楽観できるものではありません。こうした状況においても、安全性の向上やサービスの向上を図りながら一定の利益を確保していく必要があることから、これまで以上に積極的な増収対策に取り組んでまいります。

そのために、一人でも多くのお客様にご利用いただけるよう、バスは定時性向上、地下鉄は速達性向上をめざして、私たちの大切な「商品」である運行ダイヤに、より一層磨きをかけてまいります。

さらに、観光バス事業の再編強化により、地下鉄を含めた都心臨海部の「面的な市営交通ネットワーク」による横浜観光の回遊性向上や、訪日外国人向け無料 Wi-Fi サービスなどインバウンド対応の充実を図り、国内外の観光客を今まで以上に積極的に取り込みます。

こうした取組を通じて、市営交通の原点である「横浜市交通局経営理念」のもと、自主自立の健全経営を持続しながら、バス・地下鉄が一体となって市営交通としての役割と責任を果たし、将来にわたって市民のみなさまに真に必要とされる「市営交通」となれるよう、職員が一丸となって取り組んでまいります。

横浜市交通局経営理念

私たちの決意

私たちは、市民のみなさまの足として、安全・確実・快適な交通サービスを提供し、お客様にご満足いただけるよう、経営力を高め、持続的な改善に取り組めます。

- 1 安全意識を高く持ち、安全確保を最優先します。
- 2 お客様の声を大切にします。
- 3 いつも笑顔で、挨拶を励行します。
- 4 公正かつ誠実に行動します。
- 5 常に課題を明らかにし、チャレンジします。

私たちのメッセージ

信頼を心で運ぶ市バス・地下鉄

2 28 年度予算編成のポイント

28 年度の予算は、「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」の 2 年目となることから、計画を着実に推進し、安全性の向上や利便性・快適性の向上など、さまざまな「投資」効果を実感していただける取組を進めます。

■ バス・地下鉄ともに安全対策に最優先に取り組みながら、増収増益の予算とします

【自動車事業会計】

	28 年度予算案	27 年度予算	増 減
乗車料収入	204 億 2,269 万円	203 億 1,041 万円	1 億 1,228 万円
経常収入	221 億 6,605 万円	217 億 27 万円	4 億 6,578 万円
経常支出	214 億 4,871 万円	210 億 9,365 万円	3 億 5,506 万円
経常利益	7 億 1,734 万円	6 億 662 万円	1 億 1,072 万円

（詳細は 11 ページの自動車事業会計予算(案)総括表をご覧ください）

【高速鉄道事業会計】

	28 年度予算案	27 年度予算	増 減
乗車料収入	428 億 3,422 万円	415 億 4,441 万円	12 億 8,981 万円
経常収入	574 億 7,105 万円	563 億 6,235 万円	11 億 870 万円
経常支出	499 億 947 万円	500 億 3,828 万円	△ 1 億 2,881 万円
経常利益	75 億 6,158 万円	63 億 2,407 万円	12 億 3,751 万円

（詳細は 12 ページの高速鉄道事業会計予算(案)総括表をご覧ください）

《市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）の 3 つの視点による事業展開》

「市営交通 中期経営計画（平成 27～30 年度）」では、これまでの経営努力により生まれた「利益」や、みなさまからいただいた「収益」を、次の 3 つの視点に基づきみなさまに還元し、「共益の見える化」を推進していきます。

「お客様に向けて」 ～安全性・利便性・快適性・バリアフリーの向上～

安全運行・安全確保を最優先に、利便性の向上、サービスの向上を図ります。

「地域社会のために」 ～環境対策・地域貢献～

環境対策や市内中小企業振興などを通じた地域貢献、沿線のにぎわい創出を図ります。

「地方公営企業としての責任と経営基盤の強化」

～行政施策との連携強化・経営力の向上・組織力の強化～

観光・MICE 振興やオリンピック・パラリンピックなど、横浜市の施策との連携を強化します。また、経営基盤をさらに強化し、人材育成などを通じた組織風土改革にも取り組めます。

3 事業規模

28年度の市営交通の事業規模は次のとおりとします。

○ 自動車事業	在籍車両	817 両	一日当たり運転キロ	82,800 km
	営業キロ	525.212km	一日当たり乗車人員	335,000 人

○ 高速鉄道事業 (ブルーライン)	在籍車両	38 編成 228 両	一日当たり運転キロ	79,600 km
	営業キロ	40.4 km	一日当たり乗車人員	531,600 人
(グリーンライン)	在籍車両	17 編成 68 両	一日当たり運転キロ	16,800 km
	営業キロ	13.0 km	一日当たり乗車人員	142,500 人

4 乗車料収入

○ 自動車事業

【乗車料収入計上額】

	28 年度予算案	27 年度予算	増 減	対前年度予算
乗車料収入	204 億 2,269 万円	203 億 1,041 万円	1 億 1,228 万円	+0.6%

バス事業は、路線沿線の特性に応じた営業力の強化や定時性向上に向けたダイヤの見直しなど、より高いサービスの提供に取り組むほか、貸切バス事業の拡充による収益力強化や、横浜観光の回遊性向上に向けた観光バス事業の再編強化に取り組み、前年度を上回る乗車料収入を計上します。

○ 高速鉄道事業

【乗車料収入計上額】

	28 年度予算案	27 年度予算	増 減	対前年度予算
ブルーライン	351 億 6,295 万円	342 億 8,835 万円	8 億 7,460 万円	+2.6%
グリーンライン	76 億 7,127 万円	72 億 5,606 万円	4 億 1,521 万円	+5.7%
合計	428 億 3,422 万円	415 億 4,441 万円	12 億 8,981 万円	+3.1%

地下鉄事業は、多くのお客様にご利用いただけるようブルーライン快速運転のPRに努めるほか、より利便性の高いダイヤに改正します。また、お客様の立場にたったさらなる接遇の向上や、案内業務を専門に行うステーションアテンダントの拡大、駅のリニューアルなど快適性向上に取り組み、前年度予算に比べ3.1%増の乗車料収入を計上します。

5 予算（案）の主な取組

（１）お客様に向けて

ア 安全性の向上

安全な運行の提供が交通事業者としての最大の使命であることを認識し、お客様に「安全」・「安心」な交通サービスをご提供できるよう、災害対策や安全対策の取組を強化し、災害に強く、事故のない市営交通をめざします。

◆：新規・拡充事業

主な取組

＜バス＞	◇ 車両の安全対策	【3 億 1,556 万円】
	◆ 新型ドライブレコーダーの導入＜H29 全車設置＞	【2 億 4,020 万円】
	・ 車外向け音声放送装置の導入＜H28 全車取付完了＞	【2,210 万円】
	・ 車いす固定ベルトの更新（330 両）	【1,716 万円】
	◆ LEDヘッドライトの導入	【3,288 万円】
	・ LED路肩灯の導入	【322 万円】
＜地下鉄＞	◇ 安全対策・災害対策投資	【42 億 1,086 万円】
	・ 高架橋及びトンネルのさらなる耐震補強	【7,018 万円】
	・ シールドトンネルの補修工事（平沼町、大江橋）	【8,933 万円】
	・ 関内～桜木町間軌道改良工事	【1 億 9,051 万円】
	・ 高架橋高欄部補修工事	【1 億 4,726 万円】
	・ 浸水防止機の更新	【4,114 万円】
	・ 駅構内壁面タイル補修工事	【1 億 767 万円】
	◆ 車両故障の予防対策	【1 億 394 万円】
	・ 信号保安装置更新	【12 億 3,409 万円】
	・ 上永谷変電所機器更新	【7 億 3,705 万円】
＜共通＞	◇ 安全意識・運転技術向上のための研修等の充実	
	◆ バス実車訓練の強化（外部機関での実車研修）	【500 万円】
	・ 災害対応訓練の実施	【136 万円】

＜コラム＞ 安全・確実な市営交通をめざして

「災害に強く、事故のない市営交通」「止まらない・遅れない市営交通」を掲げて、安全・確実な交通サービスの提供に取り組んでいます。

◇市営地下鉄と接続する大手私鉄4社平均との「鉄道運転事故」※1「輸送障害」※2 件数比較

項 目	市営地下鉄	大手私鉄4社平均
鉄道運転事故件数（H26）	0 件	9 件
輸送障害件数（H26）	8 件	20 件

＜各社「安全報告書 2015」を基に作成＞

※1 省令に定める「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」

※2 鉄道運転事故以外のもので、運休または30分以上の遅延が生じたもの

イ 利便性の向上

市営交通をより便利にご利用いただくために、交通事業の「商品」であるダイヤの改善に取り組み続けるとともに、情報提供の拡充や設備の機能向上を実施するなど、サービスの充実を図ります。

主な取組

＜バス＞	◆ バス運行管理へのＩＣＴの導入拡大	【3億7,142万円】
	◇ タブレット型バス接近表示機の設置（10台）	【1,089万円】
	◇ 鶴見駅東口定期券発売所の移転	【2,402万円】
＜地下鉄＞	◆ ブルーラインダイヤ改正の検討・実施 （土休日快速運転時間帯の拡大等）	【4,177万円】
	◆ 多目的デジタル案内板の設置（横浜駅ほか3駅、7台）	【5,000万円】
	◇ ＩＣカード乗車券対応券売機購入（10台）	【9,828万円】

＜コラム＞ 市営バスでのＩＣカードご利用について

■市営バスは、お手持ちのＩＣカードでご乗車できます

PASMO・Suicaでご乗車いただくと、ＩＣ運賃の大人216円、小児108円が適用（均一区間）され、現金でのご乗車よりお得です。さらに、バス利用特典サービス「バステ」ポイントがたまり、ますますお得になります。

■事前の「コンビニチャージ」でスムーズにご乗車いただけます

最寄りのコンビニエンスストア（一部を除く）やバス営業所・駅などで、チャージができます。

■市営バスＩＣ1日乗車券を車内で販売しています

市営バスが1日乗り放題となる市営バスＩＣ1日乗車券は、お手持ちのPASMO・Suicaでご利用いただけます。初回ご乗車時、タッチする前に「ＩＣ1日乗車券で」と乗務員にお伝えください。

ウ 快適性の向上

お客様や市民のみなさまにバス・地下鉄のサービス向上を実感していただき、お客様満足度をさらに高めていくために、使いやすい設備の提供を実施するとともに、接客サービスのさらなる向上に取り組めます。

主な取組

＜バス＞	◇ バス停ベンチ・上屋の新設、更新及び修繕	【6,906万円】
	◇ 営業所車両洗浄機の更新（3営業所）	【2,971万円】
＜地下鉄＞	◆ ブルーライン3000形車両増備（1編成）＜H28完成予定＞	【24億4,890万円】
	◇ 駅施設への投資	
	◆ 駅のリニューアル（関内駅、阪東橋駅（設計））	【4,839万円】
	・エレベーターのリニューアル（H28完成：センター北駅）	【1億1,598万円】
	・エスカレーターのリニューアル（H28完成：関内駅）	【2億6,802万円】
	◆ トイレのリニューアル（H28完成：あざみ野駅、三ツ沢下町駅）	【9,758万円】
	◆ 駅の冷房化（H28完成：踊場駅、仲町台駅）	【1億3,636万円】
	◆ 駅案内サイン改修（H28完成：弘明寺駅）	【3,238万円】
	◆ 駅導線円滑化（乗車待ちの並び方ラインをホーム床に表示）	【300万円】
	・駅ベンチの設置	【240万円】
＜共通＞	◇ 外部講師による接客向上研修の実施	
	◆ 乗務員の接客レベルに合わせた研修強化	
	・マネジメント研修・暴力行為対応研修等	

エ バリアフリーの向上

すべてのお客様が利用しやすい市営交通をめざして、さらなる乗り換え動線の円滑化等に向けた環境整備を計画的に進めます。

主な取組

- 〈バス〉 ◇ ノンステップバスの更新（65両：ハイブリッドバス含む） 【17億7,569万円】
〈地下鉄〉 ◆ 下りエスカレーター増設（あざみ野駅）＜H28完成予定＞ 【1億5,393万円】

（2）地域社会のために

ア 環境対策

地域社会の一員として、一層の省エネやCO₂排出量の削減をすすめるなど、環境に配慮した事業運営を行います。

主な取組

- 〈バス〉 ◇ ハイブリッドバスの継続導入（5両）＜再掲＞ 【1億6,010万円】
◇ 燃料電池バス導入に向けた調査 【200万円】
〈地下鉄〉 ◇ 車両及び駅照明のLED化 【7,336万円】

イ 地域貢献

将来にわたり市民のみなさまに必要とされる市営交通となるため、市内中小企業振興や沿線の活性化に取り組み、地域の発展に貢献します。

主な取組

- 〈バス〉 ◆ 地域貢献型バスサービスとしての病院と鉄道駅を結ぶバスの運行（1路線）
◇ 連節バスの導入検討 【200万円】
◇ 障害者施設との協働によるバスターミナル清掃事業の継続 【386万円】
〈地下鉄〉 ◆ 新羽車両基地高架下・屋上有効活用の事業化推進
◇ 地下鉄沿線の小中学生を対象とした地下鉄乗務員（職業）体験
〈共通〉 ◆ 横浜市交通局広報誌「ぐるっと」等を活用した沿線の魅力発信

＜コラム＞ 事故防止と乗車マナー向上に向けた取組

お客様に安心して、より気持ちよく市営交通をご利用いただけるよう、事故防止や乗車マナー向上に向けたさまざまな取組を進めます。

市内学校と連携したマナー向上

- ・マナー啓発放送（放送音源製作）
- ・主要駅や学校の最寄駅での啓発活動等

バスの乗り方・交通安全教室の実施



- ・保育園、幼稚園、小学校でのバスの乗り方教室
- ・地域住民のみなさまに向けた交通安全教室
- ・乗り方や交通安全教室の内容をまとめた小冊子を参加者に配布

乗車マナーポスター

- ・小学生による乗車マナーポスターコンクール
- ・民間企業との協働

【平成27年度取組事例】



横浜市長賞受賞作品



(3) 地方公営企業としての責任と経営基盤の強化

ア 行政施策との連携強化

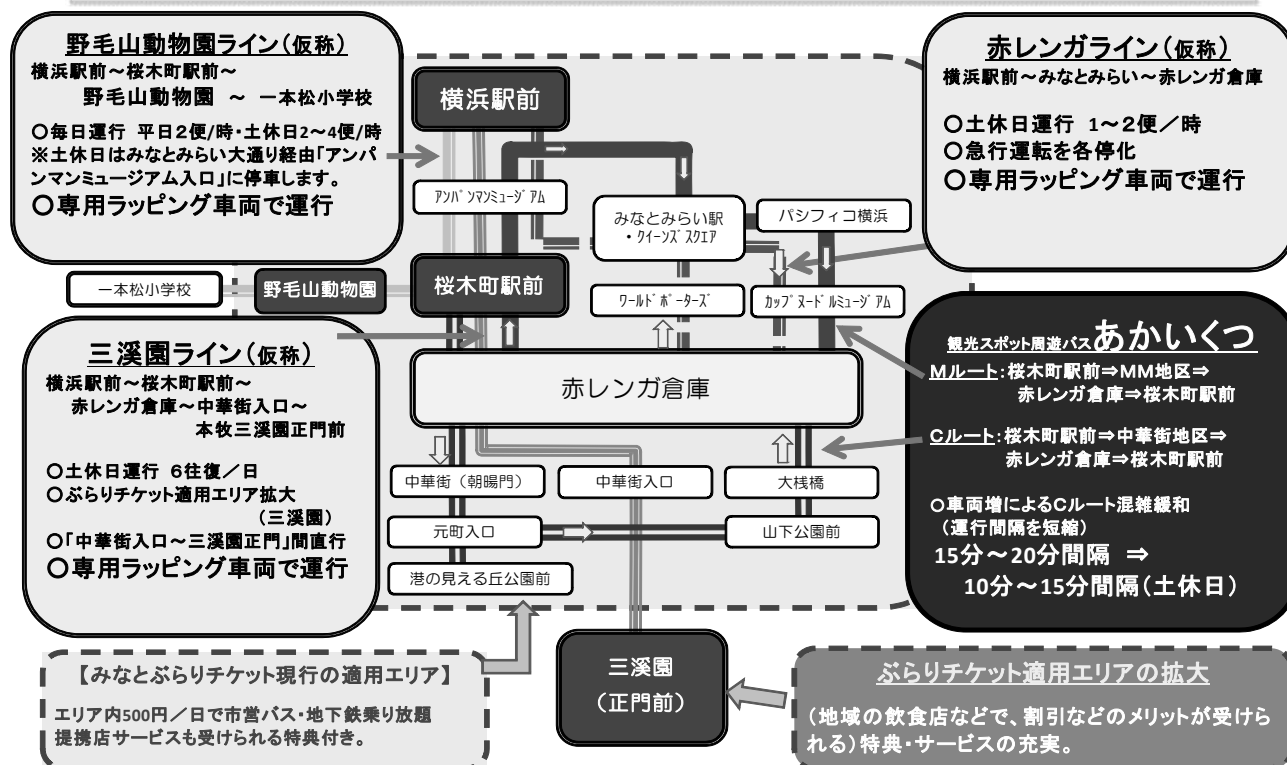
横浜市が推進する観光・MICE などの文化・観光施策の一翼を担うツールとして、観光誘客の推進を図る取組を進めるなど、市の施策との連携を強化し、横浜のまちづくりや賑わい創出に貢献します。

主な取組

- 〈バス〉 ◆ 横浜観光の回遊性向上に向けた観光バス事業の再編強化
- 〈地下鉄〉 ◇ 相鉄・東急直通線との接続に伴う工事の推進 【36 億 1,800 万円】
- 〈共通〉 ◆ 市営交通としての国際貢献のあり方検討

横浜観光の回遊性向上に向けた観光バス事業の再編強化(H28.10)

《 あかいくつと新たな仲間であらりヨコハマめぐり(仮) 》



- 定期観光バス「横濱ベイスайдライン」を発展的に解消し、需要の強い自由散策型の観光に重点対応
- 「あかいくつ」の増車 (H29) により混雑緩和を図り、快適な回遊性を確保するとともに、大人現金 220 円・IC 216 円に改定
- 観光客にもわかりやすいラッピングの「三溪園ライン」・「野毛山動物園ライン」・「赤レンガライン」(いずれも仮称) を、横浜駅発着で新たに運行
- 「あかいくつ」に新たな仲間を加えることで、市営交通による地下鉄を含めた観光ネットワークを構築

イ 経営力の向上

市営交通として自主自立の経営を持続していくため、事業運営の根幹となる乗車料収入はもとより、広告や構内営業などの附帯事業についても増収対策を強化するほか、徹底したコスト削減に取り組むなど、経営努力を重ね、財政基盤を強化します。

主な取組

- ＜バス＞ ◆ 貸切バス事業の拡充 【(収入) 3 億 3,646 万円】
- ＜地下鉄＞ ◆ ブルーラインダイヤ改正の検討・実施＜再掲＞
 - ◇ 駅における沿線での展示・イベント等入場チケットの販売促進
- ＜共通＞ ◇ 附帯事業収入の確保・増収
 - ◆ 広告媒体のリニューアル・デジタル化の実施
 - ◆ 職員住宅跡地の有効活用
 - ◆ 新羽車両基地高架下・屋上有効活用の事業化推進＜再掲＞
 - ◇ 業務用タブレット端末の活用 【7,777 万円】
 - ◇ 市営交通グループの競争力強化（関連団体業務の見直しに向けた検討）

＜コラム＞ 自主自立の健全経営の定着状況

これまで交通局では、一般会計からの任意補助金に頼らない「自主自立の健全経営」をめざして経営改善に取り組んできた結果、26 年度決算まで 5 年連続でバス・地下鉄両事業そろって経常黒字を達成しました。

今後も増収対策の強化やコストの縮減を図ることで、両事業そろって自主自立の健全経営を継続できるよう取り組んでまいります。

【任意補助金を除いた経常収支比率比較（H26 決算）】

横浜市	バス事業	107.4%	黒字
	地下鉄事業	111.2%	黒字
他都市平均	バス事業	97.0%	赤字
	地下鉄事業	114.6%	黒字

※ 経常収支比率＝経常収入÷経常支出

バス・地下鉄両事業を運営している 7 都市の中で、両事業そろって経常黒字を達成している都市は、横浜市を含め、2 都市のみ（H26 決算）

ウ 組織力の強化

安全運行を確保するための基盤となる人材の育成・確保や、職員の健康管理に取り組むとともに、職員一人ひとりが誇りとやりがいを持って仕事ができるような職場環境、組織風土づくりを進めます。

主な取組

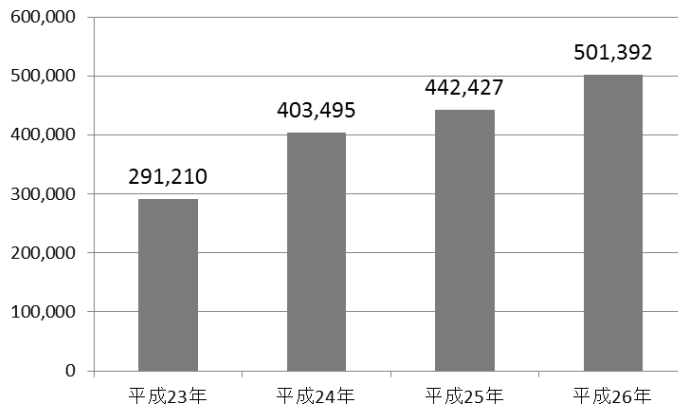
- ＜バス＞ ◆ 営業所施設の改修、職場環境の改善 【1 億 5,136 万円】
- ◆ 滝頭営業所車両整備工場建替（基本設計） 【625 万円】
- ＜地下鉄＞ ◇ 女性職員の職場環境の整備
- ◇ 駅事務室等の修繕 【563 万円】
- ＜共通＞ ◆ 総合研修センター（仮称）設置の検討
- ◇ 職員の健康管理の推進 【6,059 万円】

<コラム> 外国人旅行者への対応

近年大幅に増加している**外国人旅行者**を本市に誘客するにあたり、その玄関口として交通局が担う役割は重要なものとなっています。

ラグビーワールドカップ 2019 や、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も見据えながら、さまざまな設備やサービスの充実により外国人旅行者の受入れ環境の強化を図ることで、今後の少子高齢化・人口減少社会の中でも縮小均衡に陥ることなく「**攻めの姿勢**」で増収をめざします。

横浜市内の外国人延べ宿泊者数推移 (単位：人泊)



横浜市文化観光局 HP を基に作成

○訪日外国人向け無料Wi-Fiサービスの実施

外国人旅行者が期間限定で利用できる無料Wi-FiサービスのID・パスワード等を駅などで配布します。(平成28年5月実施予定)



Japan. Free Wi-Fi



平成27年4月、観光庁が無料公衆無線LAN設置の

外国人旅行者への利便性・情報発信を行うことを目的として定めたシンボルマーク

○ステーションアテンダントの拡大

外国人旅行者の方にも安心して快適にご利用いただけるよう、案内業務を専門に行うステーションアテンダントの配置駅を拡大します。

【配置予定駅】

(H27) 横浜駅 ⇒ (H28) 横浜駅、新横浜駅、桜木町駅 (3駅)

○外国語版パンフレット等の拡充

- ・バス・地下鉄の路線・営業案内等の英語版作成
- ・市営交通による横浜観光の外国語リーフレットの作成 (英・中・韓)
- ・みなとぶらりチケットの英語対応



<ステーションアテンダント>

【 資 料 】

予 算 （ 案 ） 総 括 表

< 自 動 車 事 業 会 計 >

< 高 速 鉄 道 事 業 会 計 >

平成28年度自動車事業会計予算(案)総括表

(単位:千円)

区 分			平成28年度 予算(案)	平成27年度 予算額	増 △ 減 A-B	平成28年度予算(案)の主な内容
A			B	A-B		
収 益 的 収 入 及 び 支 出	営業 収益	乗 車 料 収 入	20,422,686	20,310,406	112,280	○業務の予定量 1 在籍車両数 817両 2 運転キロ数(一日当たり) 82,800km 3 輸送人員(一日当たり) 335,000人
		(うち特別乗車証)	(5,052,927)	(5,058,218)	(△ 5,291)	
		広 告 料 収 入	177,731	174,074	3,657	
		そ の 他 収 入	313,908	365,072	△ 51,164	
		(うち運行繰入金)	(279,480)	(324,000)	(△ 44,520)	
	計		20,914,325	20,849,552	64,773	正規職員 12,421,032
	営業 費用	人 件 費	13,632,155	12,772,099	860,056	嘱託職員等 453,499
		経 費 等	5,394,181	5,773,035	△ 378,854	退職給付費 757,624
		減 価 償 却 費 等	1,681,760	1,703,141	△ 21,381	車両修繕費 681,103
		計	20,708,096	20,248,275	459,821	動力費 882,636
						その他 3,830,442
	営 業 損 益		206,229	601,277	△ 395,048	
	営業 外 収 益	一 般 会 計 補 助 金	767,361	376,334	391,027	児童手当補助金 91,392 地共済追加費用負担補助金 262,537 基礎年金公的負担補助金 413,432
		長 期 前 受 金 戻 入	82,908	96,706	△ 13,798	
		そ の 他 収 入	401,459	377,678	23,781	
		計	1,251,728	850,718	401,010	
	営業 外 費 用	支 払 利 息 等	10,621	15,371	△ 4,750	
		そ の 他 支 出	10,000	10,000	0	
		消 費 税 納 付 金	700,000	800,000	△ 100,000	
		計	720,621	825,371	△ 104,750	
	営 業 外 差 引		531,107	25,347	505,760	
	予 備 費		20,000	20,000	0	
	経 常 収 入		22,166,053	21,700,270	465,783	
	経 常 支 出		21,448,717	21,093,646	355,071	
	経 常 損 益		717,336	606,624	110,712	
	特 別 利 益		0	0	0	
	特 別 損 失		0	0	0	
	純 損 益		717,336	606,624	110,712	
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	企 業 債	1,703,000	1,200,000	503,000	地域公共交通補助金 7,560 低公害バス導入補助金 4,105
		国 庫 補 助 金	11,665	80,907	△ 69,242	
		県 補 助 金	10,676	0	10,676	運輸事業振興助成交付金 10,676
		一 般 会 計 補 助 金	5,835	5,835	0	低公害バス導入補助金 5,835
		計	1,731,176	1,286,742	444,434	
	支 出	建 設 改 良 費	3,523,855	2,181,167	1,342,688	バス車両購入費 1,797,794 各施設整備費等 1,726,061
		企 業 債 償 還 金	811,397	1,304,265	△ 492,868	
		計	4,335,252	3,485,432	849,820	
	差 引 残 (△) 不 足 額		△ 2,604,076	△ 2,198,690	△ 405,386	
	補填財源等					
	損 益 勘 定 留 保 資 金 等		2,604,076	2,198,690	405,386	

平成28年度 高速鉄道事業会計予算(案)総括表

(単位:千円)

区 分			平成28年度 予算(案)	平成27年度 予算額	増 △ 減	平成28年度予算(案)の主な内容
			A	B	A－B	
収 入 及 び 支 出	営 業 収 益	乗 車 料 収 入	42,834,221	41,544,407	1,289,814	○業務の予定量 1. 車両数 55編成 296両 2. 運転キロ数(一日当たり) 96, 400km 3. 輸送人員(一日当たり) 647, 200人
		(うち特別乗車証)	(2,252,836)	(2,246,552)	(6,284)	
		広 告 料 収 入	609,675	585,468	24,207	
		そ の 他 収 入	605,442	540,848	64,594	
		計	44,049,338	42,670,723	1,378,615	
	営 業 費 用	人 件 費	8,530,412	8,107,628	422,784	正規職員 7,952,048 嘱託職員等 20,604 退職給付費 557,760 修繕費 3,687,347 動力費 1,578,308 その他 4,582,482
		経 費 等	9,848,137	9,057,616	790,521	
		減 価 償 却 費 等	18,519,452	18,158,378	361,074	
		計	36,898,001	35,323,622	1,574,379	
		営 業 損 益	7,151,337	7,347,101	△ 195,764	
	営 業 外 収 益	一 般 会 計 補 助 金	3,939,673	3,242,403	697,270	特例償還元金補助金 3,033,000 特例債利子補助金 121,446 特別分企業債利子補助金 429,033 基礎年金公的負担補助金 306,178 児童手当補助金 50,016
		受 託 工 事 収 益	3,618,000	4,558,000	△ 940,000	
		長 期 前 受 金 戻 入	4,838,266	4,918,957	△ 80,691	
		そ の 他 収 入	1,025,773	972,273	53,500	
		計	13,421,712	13,691,633	△ 269,921	
	営 業 外 費 用	支 払 利 息 等	7,653,472	8,313,661	△ 660,189	建設改良費充当企業債利息 5,015,866 資本費平準化債利息 435,765 資本費負担緩和債利息 1,952,331 特例債利息 192,843 企業債取扱諸費等 56,667
		受 託 工 事 費	3,618,000	4,558,000	△ 940,000	
		そ の 他 支 出	10,000	13,000	△ 3,000	
		消 費 税 納 付 金	1,700,000	1,800,000	△ 100,000	
		計	12,981,472	14,684,661	△ 1,703,189	
	営 業 外 差 引		440,240	△ 993,028	1,433,268	
	予 備 費		30,000	30,000	0	
	経 常 収 入		57,471,050	56,362,356	1,108,694	
	経 常 支 出		49,909,473	50,038,283	△ 128,810	
	経 常 損 益		7,561,577	6,324,073	1,237,504	
	特 別 利 益		0	0	0	建設改良費充当企業債 8,920,000 資本費平準化債 5,071,000 特例債 1,242,000 借換債 1,334,000 地下高速鉄道整備事業費補助金 41,000 エコレールラインプロジェクト補助金 23,994 建設改良費に係る出資金 1,887,000 特別分企業債元金償還補助金 1,075,686 地下高速鉄道整備事業費補助金 45,556
	特 別 損 失		0	0	0	
	純 損 益		7,561,577	6,324,073	1,237,504	
資 本 的 収 入 及 び 支 出	企 業 債	16,567,000	20,811,000	△ 4,244,000		
	国 庫 補 助 金	64,994	241,000	△ 176,006		
	一 般 会 計 出 資 金	1,887,000	1,887,000	0		
	一 般 会 計 補 助 金	1,121,242	1,314,418	△ 193,176		
	そ の 他 収 入	480,034	176,238	303,796		
計		20,120,270	24,429,656	△ 4,309,386		
支 出	建 設 改 良 費	11,712,916	10,920,969	791,947	建設改良費充当企業債 17,550,669 特例債 3,033,000 資本費負担緩和債 6,383,713 資本費平準化債 2,300,000	
	企 業 債 償 還 金	29,267,382	36,467,617	△ 7,200,235		
	計	40,980,298	47,388,586	△ 6,408,288		
差 引 残 (△) 不 足 額		△ 20,860,028	△ 22,958,930	2,098,902		
補填財源等						
損益勘定留保資金等		20,860,028	22,958,930	△ 2,098,902		

平成28年度高速鉄道事業会計予算(案) ブルーライン総括表

(単位:千円)

区 分			平成28年度 予算(案)	平成27年度 予算額	増 △ 減	平成28年度予算(案)の主な内容
			A	B	A－B	
収 益 的 収 入 及 び 支 出	営業 収益	乗 車 料 収 入	35,162,947	34,288,351	874,596	○業務の予定量 1. 車両数38編成 228両 2. 運転キロ数(一日当たり)79,600km 3. 輸送人員(一日当たり)531,600人
		(うち特別乗車証)	(1,962,220)	(1,972,405)	(△ 10,185)	
		広 告 料 収 入	530,474	513,831	16,643	
		そ の 他 収 入	557,614	493,243	64,371	
		計	36,251,035	35,295,425	955,610	
	営業 費用	人 件 費	6,286,913	6,032,076	254,837	正規職員5,860,659 嘱託職員等15,185 退職給付費411,069 修繕費2,724,616 動力費1,294,099 その他3,643,778
		経 費 等	7,662,493	7,123,157	539,336	
		減 価 償 却 費 等	13,359,651	12,813,168	546,483	
		計	27,309,057	25,968,401	1,340,656	
	営 業 損 益		8,941,978	9,327,024	△ 385,046	特例債償還元金補助金3,033,000 特例債利子補助金121,446 特別分企業債利子補助金0 基礎年金公的負担補助金225,653 児童手当補助金36,862
	営業外 収益	一 般 会 計 補 助 金	3,416,961	2,718,571	698,390	
		受 託 工 事 収 益	3,618,000	4,558,000	△ 940,000	
		長 期 前 受 金 戻 入	2,872,623	2,924,083	△ 51,460	
		そ の 他 収 入	862,352	821,582	40,770	
		計	10,769,936	11,022,236	△ 252,300	
	営業外 費用	支 払 利 息 等	5,746,000	6,325,776	△ 579,776	
		受 託 工 事 費	3,618,000	4,558,000	△ 940,000	
		そ の 他 支 出	7,570	10,570	△ 3,000	
		消 費 税 納 付 金	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	
		計	10,671,570	12,294,346	△ 1,622,776	
	営 業 外 差 引		98,366	△ 1,272,110	1,370,476	
	予 備 費		20,000	20,000	0	
	経 常 収 入		47,020,971	46,317,661	703,310	
	経 常 支 出		38,000,627	38,282,747	△ 282,120	
	経 常 損 益		9,020,344	8,034,914	985,430	
	特 別 利 益		0	0	0	建設改良費充当企業債8,465,000 資本費平準化債5,071,000 特例債1,197,000 借換債1,334,000 地下高速鉄道整備事業費補助金41,000 エコレールラインプロジェクト補助金23,994 建設改良費に係る出資金1,774,000 特別分企業債元金償還補助金0 地下高速鉄道整備事業費補助金45,556
	特 別 損 失		0	0	0	
純 損 益		9,020,344	8,034,914	985,430		
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	企 業 債	16,067,000	20,030,000	△ 3,963,000	建設改良費充当企業債13,016,756 特例債3,033,000 資本費負担緩和債6,383,713 資本費平準化債2,300,000
		国 庫 補 助 金	64,994	241,000	△ 176,006	
		一 般 会 計 出 資 金	1,774,000	1,705,000	69,000	
		一 般 会 計 補 助 金	45,556	258,889	△ 213,333	
		そ の 他 収 入	480,034	176,238	303,796	
	計		18,431,584	22,411,127	△ 3,979,543	
	支 出	建 設 改 良 費	11,144,705	10,006,629	1,138,076	
		企 業 債 償 還 金	24,733,469	32,028,623	△ 7,295,154	
		計	35,878,174	42,035,252	△ 6,157,078	
		差 引 残 (△) 不 足 額	△ 17,446,590	△ 19,624,125	2,177,535	
補填財源等						
損益勘定留保資金等		17,446,590	19,624,125	△ 2,177,535		

平成28年度高速鉄道事業会計予算(案) グリーンライン総括表

(単位:千円)

区 分			平成28年度 予算(案)	平成27年度 予算額	増 △ 減	平成28年度予算(案)の主な内容	
			A	B	A－B		
収 益 的 収 入 及 び 支 出	営業 収益	乗 車 料 収 入	7,671,274	7,256,056	415,218	○業務の予定量 1. 車両数 17編成 68両 2. 運転キロ数(一日当たり) 16, 800km 3. 輸送人員(一日当たり) 142, 500人	
		(うち特別乗車証)	(290,616)	(274,147)	(16,469)		
		広 告 料 収 入	79,201	71,637	7,564		
		そ の 他 収 入	47,828	47,605	223	正規職員 2,091,389 嘱託職員等 5,419 退職給付費 146,691 修繕費 962,731 動力費 284,209 その他 938,704	
		計	7,798,303	7,375,298	423,005		
	営業 費用	人 件 費	2,243,499	2,075,552	167,947		
		経 費 等	2,185,644	1,934,459	251,185		
		減 価 償 却 費 等	5,159,801	5,345,210	△ 185,409		
		計	9,588,944	9,355,221	233,723		
	営 業 損 益		△ 1,790,641	△ 1,979,923	189,282	特例債償還元金補助金 0 特例債利子補助金 0 特別分企業債利子補助金 429,033 基礎年金公的負担補助金 80,525 児童手当補助金 13,154	
	営業 外 収 益	一 般 会 計 補 助 金	522,712	523,832	△ 1,120		
		受 託 工 事 収 益	0	0	0		
		長 期 前 受 金 戻 入	1,965,643	1,994,874	△ 29,231		
		そ の 他 収 入	163,421	150,691	12,730		
		計	2,651,776	2,669,397	△ 17,621		
	営業 外 費 用	支 払 利 息 等	1,907,472	1,987,885	△ 80,413		
		受 託 工 事 費	0	0	0		
		そ の 他 支 出	2,430	2,430	0		
		消 費 税 納 付 金	400,000	400,000	0		
		計	2,309,902	2,390,315	△ 80,413		
	営 業 外 差 引		341,874	279,082	62,792	建設改良費充当企業債利息 1,886,341 資本費平準化債利息 0 資本費負担緩和債利息 0 特例債利息 1,131 企業債取扱諸費等 20,000	
	予 備 費		10,000	10,000	0		
	経 常 収 入		10,450,079	10,044,695	405,384		
経 常 支 出		11,908,846	11,755,536	153,310			
経 常 損 益		△ 1,458,767	△ 1,710,841	252,074			
特 別 利 益		0	0	0			
特 別 損 失		0	0	0			
純 損 益		△ 1,458,767	△ 1,710,841	252,074			
資 本 的 収 入 及 び 支 出	収 入	企 業 債	500,000	781,000	△ 281,000		建設改良費充当企業債 455,000 資本費平準化債 0 特例債 45,000 借換債 0 地下高速鉄道整備事業費補助金 0 エコレールラインプロジェクト補助金 0 建設改良費に係る出資金 113,000 特別分企業債元金償還補助金 1,075,686 地下高速鉄道整備事業費補助金 0 建設改良費充当企業債 4,533,913 特例債 0 資本費負担緩和債 0 資本費平準化債 0
		国 庫 補 助 金	0	0	0		
		一 般 会 計 出 資 金	113,000	182,000	△ 69,000		
		一 般 会 計 補 助 金	1,075,686	1,055,529	20,157		
		そ の 他 収 入	0	0	0		
	計	1,688,686	2,018,529	△ 329,843			
	支 出	建 設 改 良 費	568,211	914,340	△ 346,129		
		企 業 債 償 還 金	4,533,913	4,438,994	94,919		
		計	5,102,124	5,353,334	△ 251,210		
		差 引 残 (△) 不 足 額		△ 3,413,438	△ 3,334,805	△ 78,633	
補填財源等							
損益勘定留保資金等		3,413,438	3,334,805	78,633			

横浜市交通局安全方針

私たちは、安全な運行の提供がお客様への最大のサービスであることを認識し、どなたにも安心してご利用いただける市営交通をめざします。

- 1 安全意識を高く持ち、決められたルールを深く認識し、しっかり守ります。
- 2 安全を維持し向上させていく取組を常に見直し、改善に努めます。
- 3 安全な車両・設備などの提供に努めます。
- 4 日ごろからコミュニケーションを活発にし、安全第一の職場風土を築きます。